

旭川競馬場跡地の移り変わり

「旭川市神居町上雨紛500」、道道219号線横の高台、かつてこの場所に「旭川競馬場」があったことを御記憶の方も多いだろう。

旭川競馬場は、花咲4にあった旧競馬場が老朽化したことに伴い、1975年（昭和50年）に神居町上雨紛に移転新築、「道営ホッカイドウ競馬」と「市営ばんえい競馬」が開催できるコースを備えた競馬場としてオープンした。

かつては、競馬ファンのみならず多くの市民が幾多の名勝負に歓喜し、多くの賑わいを見せていた競馬場も、レジャーの多様化と景気の後退などで、入場者数が減少し、2006年度（平成18年度）限りで「市営ばんえい競馬」が、2008年度（平成20年度）限りで「道営ホッカイドウ競馬」がそれぞれ「開催撤退」を決定し、2008年（平成20年）10月16日に開催された「道営ホッカイドウ競馬」を最後に、旭川競馬場は、その長い歴史に幕を閉じたのである。

また、1981年（昭和56年）から毎年3月に開催されている「旭川国際パーサーズキー大会」（現在は「パーサーロケットジャパン」に大会名を変更）の会場に旭川競馬場が使われていた。しかし、競馬場施設の閉鎖に伴い、2009年（平成21年）3月開催の大会を最後に会場が移転され、同年、競馬場施設は、そのすべてが解体撤去され、更地となった。

更地となって数年の時が流れ、2015年（平成27年）12月に「旭川競馬場跡地」は、横浜ゴム株式会社の「北海道タイヤテストセンター」として生まれ変わったのである。そう「冬の怪物、旭川から世界へ。」「iceGUARD」でおなじみの「YOKOHAMA」のテストコースである。

横浜ゴム（株）が、ここ神居町上雨紛にテストセンターを開設したのは、旭川駅や旭川空港からの利便性が高いことと、厳冬期である12月末から翌年2月末までに、氷点下の気温が安定的に続くことが、冬用タイヤのテストに最適であったことが挙げられる。

北海道タイヤテストセンターは、敷地面積906,462㎡。東京ドームの19倍強にあたる広大な敷地に、直線約1キロにおよぶ圧雪路のほか、氷盤路、登坂路、雪上／氷上旋回路、ハンドリング路を備えており、乗用車で時速100キロメートル以上のテスト走行ができるほか、バスやトラックについても、様々な路面状況で制動・発進・加速テストができるとのこと。

また、2018年（平成30年）1月には、同センター敷地内に「屋内氷盤試験場」を開設した。全長119m、全幅24m、高さ（最高部）8.8m、延べ床面積2,860㎡の建物内では、気温や天候などの外的要因に左右されず、路面状態を安定的に保つことのできるため、試験データの精度が向上し、より高度な技術開発が可能になったとのこと。

冬道を安全に走行するためのスタッドレスタイヤは、「雪国旭川」に住む私たちの生活には「なくてはならないもの」。寒さ厳しい旭川の「神居地区」で、世界屈指のタイヤメーカーである横浜ゴム（株）が、タイヤの安全性能向上のため、最新技術を駆使し、厳しいテストを繰り返しているのである。



写真：横浜ゴム株からの提供



写真：旭川市中央図書館所蔵



写真：旭川市中央図書館所蔵



旭川競馬場跡地の碑

神居支所の壁面を飾る「ちびっ子作品」



こぼと幼稚園



ねむのき保育園



忠和保育園

まち協地域支え合い事業

神居・江丹別地域包括支援センターで行っている地域ボランティア研修会修了者のグループ「ハートフレンド」がスタッフとなって、高齢者や子どもの孤立防止や地域交流のための居場所づくりとして「地域食堂」や「みんなのおうち」での活動を定期的に行っています。

地域食堂は今年で3年目となり、「ハートフレンド」及び地域の皆さんの協力を得ながら、どなたでも参加できる交流の場となっています。今年度は公民館や地区・住民センターのほかに、トクさんの家で夜食堂も行いました。上雨紛分館での地域食堂では、食事の前後に健康サロンとして、血圧、握力、内臓脂肪など測定し今後の生活習慣を見直したところでした。

みんなのおうち「トクさんの家」では、地域の方々や、閉じこもりがちな方々に声かけし送迎しながら参加いただいています。第一・第三金曜日は健康サロン、第二・第四金曜日は手作り教室を開き、他にも季節の行事（餅つき・サクラボ祭り・おまつり）など行い楽しい時間を過ごしています。お気軽にご参加ください。（神居地域支え合い事業実行委員会）



まち協 神居雨紛地区

神居雨紛地域の防災を考える研修会

12月12日（木）に、旭川市農業センターで「神居雨紛地域の防災を考える研修会」を開催しました。

当地区は、雨紛川氾濫による浸水被害を経験していることから、研修会では、旭川市防災課の古里様を講師としてお迎えし、「災害への心構え」と「台風19号被災地派遣報告」の2点についてお話しいただきました。受講者は、災害から身を守り、被害を減らすための「自分でできる対策」と「心構え」についての説明に熱心に耳を傾け、とても有意義な研修会になりました。



まち協 台場地区

ポニーばん馬

6月16日（日）午前10時から、神居町台場で「ポニーばん馬大会」が開催され、「名馬」たちが熱戦を繰り広げました。

今年は、コースの内側に作られた特設ゲージに、黒毛と白毛の2頭の「道産子」の仔馬が放されていて、来場者が自由に触れたり、用意されていたニンジンを与えることもできました。ニンジンをポリポリと美味しく音を立てて食べる姿に、来場者も楽しそうな表情で見つめていました。なお、今年の開催は、令和2年6月21日（日）の予定です。



まち協 西神居地区

秋のカムイ感謝祭

真夏を思わせる天候の中、9月8日（日）午前10時からカムイスキーリンクスで「秋のカムイ感謝祭」を開催しました。

アウトドア体験と銘打ってロープワーク教室や秀岳荘の道具展示のほか、参加者が草の茂るゲレンデや林道を自由に散策したり、駐車場を利用したドリフト走行の実演と体験試乗などで盛り上がりました。

目玉は旭川パークと地元野菜のバーベキュー。お腹いっぱい食べたあとには、秀岳荘やドリフトチームなどから提供された景品を使った抽選会が行われました。



（神居雨紛・台場・西神居地区まちづくり事業実行委員会）

神居公民館からのお知らせ

新年度生徒募集のご案内

神居公民館 TEL 61-2575
（平日 8:45～17:15）

※申込み詳細につきましては、「こうほう旭川市民あさひばし」、「神居公民館だより」等でお知らせします。

神居百寿大学



【日 程】5月～翌年2月、月1～2回、原則として水曜日
【時 間】午前10時～午後3時
【運営費】年4,000円（教材費等は別途）
【募 集】60歳以上の男女
たくさん仲間と楽しく学びましょう！

神居女性大学



【日 程】5月～翌年2月の木曜日、月1～2回
【時 間】午前10時～午後3時
【運営費】年3,000円（教材費等は別途）
【内 容】一般教養や健康などの講義、軽スポーツ、製作体験、調理実習、野外学習などを予定しております。

神居女性学級



【日 程】5月～翌年2月の火曜日、月1回
【時 間】午前10時～午後2時
【運営費】年3,000円
【内 容】健康等の講義、野外学習などを予定しております。

【編集後記】多くの事業を実施しているなか、事務局に寄せられた記事や写真を拝見し、またいくつかの会場を訪れてみて特に印象的だったこと…。それは未来を担う子どもたちのピッカピカの笑顔。大切な地域の宝。（K）

【編集・発行】カムイ（まち協）新聞編集委員会
【連絡・問合せ先】旭川市神居支所 TEL 61-2311

第31回 ふるさとカムイ ふれあいフェスティバル開催

9月1日、2日の両日、かむい中央公園で、今年で31回目を数える『ふるさとカムイふれあいフェスティバル』が開催されました。

地域町おこしの起爆剤として、また地域住民の親睦、子ども達のふれ合いの場と思い出づくりのために毎年開催しています。

第1日目の午後から、交通安全祈願パレードが行われ、神居2条通り環状線を町内女性部の民謡踊りを先頭に幼稚園園児の子どもみこし、各町内会の山車と交通安全行列、神居小学校、神居中学校の吹奏楽行進など総勢200名が、沿道に詰めかけた多くの人々から大声援を頂きながら行進しました。



両日とも夜は、かむい中央公園で子ども盆踊りと各町内会参加の仮装盆踊りを行い、子ども盆踊りでは小さなお子様から中学生くらいまでの約400名が参加してくれました。子ども達は最初、恥ずかしいのかなか盆踊りの輪に入りませんでした。時間が経つにつれ、太鼓の音に合わせて嬉しそうに踊ってくれました。我が神居にはこんなに子どもがいるのかとうれしく思いました。引き続き各町内会参加の仮装盆踊りが行われ、各町内会の衣装、山車には色々なアイデアがほどこされ観衆の皆さんも多に楽しんでいただけたと思っております。

(神居中央地区市民委員会)

異世代交流大運動会

異世代交流大運動会は、子どもを中心に『誰でも集まれる楽しい場所』を目指して実施しています。

今年、7月27日(土)に神居小学校体育館で行いました。当初は、かむい中央公園での実施を予定しておりましたが、雨天のため屋内での開催となりました。会場変更に伴い種目変更もありましたが、マット取りゲーム、ヨーヨーつり、おやつ食い競走、ダンシング玉入れ、大人気のかき氷早削り選手権など…、幼児連れの子世代や3世代での参加もあり、多世代の方130名程での楽しい時間を共有しました。

開催案内文は、26町内会での班回覧と、町内会未加入世帯にも地域行事のお知らせをするため、学校の協力を得て全校児童への配付をお願いしました。

各町内会青少年育成部長さんの熱心な活動と、学校として地域行事に全面的に協力して頂いている神居小学校、神居中学校、富沢小学校に心から感謝を申し上げます。

大切な子ども達のために、地域としてできる事を、これからも継続して行きたいと思っております。



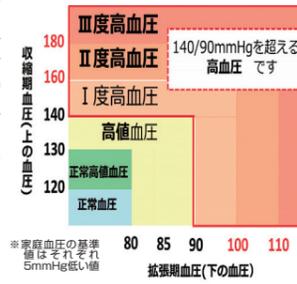
(神居中央地区市民委員会)



家庭血圧を測りましょう!

こんにちは!
地区担当
保健師です!

旭川市保健所保健指導課の保健師です。皆さんは普段血圧を測っていますか?昨年高血圧治療ガイドラインが改訂され、血圧120-80mmHg未満(診察室での測定値)が正常血圧と定義されました。高血圧の基準値は140-90mmHg以上であり、脳梗塞等の大きな要因であることが改めて示されています。また、家庭での測定値は大変重要視されていますので、血圧治療中の方や高めな方など、ぜひ毎日測定し、かかりつけ医への相談をお勧めします。



〈家庭血圧測定のポイント〉

- 1 血圧計の選び方
肘よりも上で測るタイプがお勧めです。
- 2 測定のポイント
1日2回(朝・夜)、原則各機会に2回、座って1~2分たってから測りましょう。
朝～起床後1時間以内でトイレに行ったあと(朝食の前、薬を飲む前に)
夜～寝る直前(入浴や飲酒の直後は避ける)

旭川市保健所保健指導課より

除雪中の事故防止に向けた対策について

除雪中の事故の特徴として、除雪作業中の屋根からの転落による事故、高齢者の事故、1人での作業中の事故、作業を始めてから間もない事故が多いと言われています。

除雪作業を行う場合は、1人では作業せず、家族や親戚、雪処理の担い手などと一緒に行うようにしてください。

また、安全性を高めるために、命綱やヘルメットの正しい着用、はしごの固定、エンジンを切ってから除雪機の雪詰りを取り除く、携帯電話を携帯するなど、十分に注意して行うようお願いいたします。

なお、気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出を控えてください」というキーワードを使った気象情報が発表されたときは、厳重に警戒するとともに、不要な外出は避けてください。



旭川市防災安全部防災課より

かむい遊びの学校

「かむい遊びの学校」を開校しました。

9月29日(日)にかむい中央公園で、外で遊ぶ事が少なくなってきた子ども達に、外遊びの楽しさを体験してもらうための「かむい遊びの学校」を開校しました。

昨年は、胆振東部地震の影響で中止となったため、2年ぶりの開校となりましたが、地域の皆様や、各小・中学校にもご協力戴き、神居地域全体から42名の子ども達が参加しました。前半は、神居中央地区と忠和地区の連合子ども会の中・高生が進行役となって「鬼ごっこ」、「人間ハンカチ」、「マット取りゲーム」を行い、後半は「ストラックアウト」や「おやつ食い競走」で、会場は参加した子ども達の元気いっぱいの疾走と歓声で沸き上がりました。

これからも地域の皆様と「地域の子どもは地域で見守り育む」を合い言葉に、事業に取り組んで参ります。



(神居子ども育成事業実行委員会)

忠和地区防災コミュニティ事業

忠和地区防災コミュニティ事業実行委員会が主催する「忠和地区防災研修会」が10月9日と11月29日の2回、午後1時30分から午後3時30分まで忠和地区センター大ホールで開催され、町内会役員(地域住民を含む)65名が参加し、地域の災害リスクや避難行動、備えについて学び地域の絆の大切さや自発的な自助・共助による防災活動の重要性を認識することができました。

さらに、12月、1月、2月には、地域全体の防災力を向上させるために、いざというときに役に立つ「防災マニュアルの作成」、「DIG災害図上訓練」、避難者の実情に応じて、避難所に見立てた平面図に適切に避難者を配置できるか、トラブルにどう対応するか等避難所運営を模擬体験するHUG「避難所運営ゲーム」を実施する予定です。

平常時から、災害時を想定した防災活動を実施し、その中から改善点を発見→検証→改善へとつなげていくことが重要と考えます。



(忠和地区防災コミュニティ事業実行委員会)

神居東地区防災事業

災害への備えを高めるために

今年もまた日本各地で豪雨や台風による災害が繰り返され、多くの人命が失われ多数の人々の暮らしが一変しました。

神居東地区市民委員会では一昨年「災害特別委員会」を設置し、地域住民の暮らしを守るための課題について検討を重ねてきました。昨年は「水防災に関する住民意識調査」を行い自助と共助の力を高める必要性を再確認しました。

今年10月2日に「地域防災研修会」を開催し、各町内会から60名を超える方々が参集して ①旭川市ハザードマップ改定の要点 ②自助、共助の力を高めるとりくみの2点について学びました。

また、現在地域の方々の災害に対する不安や、疑問に伝えるため「こんなときどうする?」と題したQ&Aを作成中で、1月にも全戸に配布する予定です。

各町内会では防災に関する組織の立ち上げや研修会の開催、防災資料の作成にとりくむ姿が見られ、地域の皆さんの防災、減災に対する意識も徐々に高まりを見せているように感じます。



(神居東地区市民委員会防災特別委員会)